

関 孝弘：公開講座

本当の意味が解れば
演奏・指導が大きく変わる！
目からウロコの人気講座！

『音楽用語は作曲家からのメッセージ』

テヌートとソステヌートの違いがわかりますか？
ラルゴとレントはどちらが遅い？

リタルダントとラレンタントの違いは……？

“音楽用語”の真の意味を知れば、演奏表現が大きく変わる！

言葉の持つ多彩なニュアンスを心で感じて演奏表現に役立たせるために！



日本では音楽用語の持つ大切なニュアンスが無視され、まるで記号化されたかのように「速く、遅く、強く、弱く…」と単純に定義されています。

音楽用語は決して特殊な言葉ではありません。今も普通に日常で使われている”生きた言葉”なのです。そこには様々に変化する微妙なニュアンスが含まれています。

アダージョ、レント、ラルゴは「遅く」、テヌート、ソステヌートは「音を保持して」とまるで同義語のように解されていますが、そこには大きな違いがあるのです。

無味乾燥な物理的に解された従来の日本での音楽用語の解釈は、ヨーロッパの演奏解釈から遠い存在です。

イタリア滞在も30年を超えるピアニスト関孝弘が、音楽用語の真の意味をひも解く、日々の演奏や指導に役立つ「目からウロコ」と全国で話題の講座です。

【関 孝弘 TAKAHIRO SEKI】



東京に生まれる。東京芸術大学、同大学院を修了。
1979年よりイタリアのプレーシャ国立音楽院に留学。在学中から数々の国際コンクールに上位入賞。
ワルシャワ・フィル、モスクワ交響楽団、サンクト・ペテルブルグ・オーケストラ、ヴェニス室内合奏団などにソリストとして招かれ共演。1988 - 2005年、東京芸術大学の講師を務めながら、その間にも演奏活動と研究のため、日本とイタリアの往復生活を続ける。イタリアのピアノ音楽を意欲的に日本に知らしめ、その功績は多大であり高く評価されている。楽譜校訂及び監修、CD録音多数。現在、イタリア音楽協会理事も務めており、2001年から毎年開いている東京文化会館大ホール演奏会では毎回満席になるほどの人気を博す実力派ピアニストである。国内はもとよりヨーロッパの演奏活動も多く、イタリアを中心に広く活躍している。http://www.mt-brillante.jp

主要テキスト

イタリア語から学ぶ

ひと目で納得! 音楽用語事典

関孝弘／ラーゴ・マリアンジェラ：共著 ￥1,890(税込)

関孝弘出版物一覧

- ・これで納得!よくわかる音楽用語のはなし
- ・ショパン：ピアノ遺作集
- ・ショパン：四手のための変奏曲「ムーアの民謡風主題による」
- ・イタリアピアノ名曲選集
- ・レスピーギ：ピアノ曲集1・2
- ・ガルツピ：ピアノ・ソナタ集
- ・チマローザ：ピアノ・ソナタ全集1・2
- ・ニーノ・ロータ：子どものための7つの小品／戯れるイッポリト

【全音楽譜出版社刊】

日 時：2011年5月18日(水)AM10:00～12:00

会 場：カワイ名古屋 2F コンサートサロン「ブルー」

受講料：カワイ講師・音研会 2,500 円(税込)

会員(楽譜・ショパン協会・JPTA・PTNA) 3,000 円(税込)

一般 3,500 円(税込)

◎お問い合わせ・お申し込み

カワイ名古屋 名古屋市中区錦 3-15-15 TEL :052-962-3939



◎関 孝弘『音楽用語は作曲家からのメッセージ』公開講座を申し込みます。

受付日 月 日

フリガナ
お名前

TEL

ご住所 〒

いずれかに○をおつけください

カワイ講師・会員(楽譜・音研会・ショパン協会・JPTA・PTNA)・一般

※ご記入頂いたお客様の個人情報はこの講座の控えとしてのみ利用させていただきます。